

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月 6日

議 会 議 長 様

議席番号 11 番

議員氏名 原 田 壽 々 子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 公立小学校における教育の重要性と県内トップクラスの学力という町長公約との関連性は	<p>異次元の少子化対策が叫ばれ、学校における働き方改革が進められている中、当町における学校教育の質、クオリティはどのように確保され、子どもたちの教育を進めていこうとしているのでしょうか。</p> <p>町長は、昨年9月定例会における一般質問において、優先政策に「県内トップクラスの学力」を掲げた理由として、次のように答弁しています。</p> <p>「私が考える学力は知識、思考力、判断力等の総合的な力が学校教育を通して育むべき学力であり、中でも知識の習得については児童生徒の将来の夢の実現に向けて、大切な力の一つである」、「よりよい学習環境の中で日々の授業を通して、児童生徒一人一人が主体的に生き生きと学び学力を身につけることで、結果として杉戸町の教育水準をより一層高めていくことを目標としたい」、「自信を持って成長していくことは、自分自身の未来の扉を切り拓くことに加え、町の未来を拓く大きな力にもなっていく」とのことでした。</p> <p>そこで、以下伺います。</p> <p>(1) 県内トップクラスの学力と掲げた町長の真の目的は「生きる力」を育むことと解釈するが、特に重点とした「知識」とは、具体的に何を指すのか。</p> <p>(2) 基礎学力を身につける方法として、各学校でどのように工夫し、実践しているのか。その取組と成果は。</p>	<p>町長 副町長 教育長 学校教育課長 社会教育課長 教育総務課長 子育て支援課長 担当課長</p>

11月 6日 午前・午後10時10分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
	<p>(3) 思考力・判断力を身につけるための教育は、各学校でどのように工夫し、実践しているのか。その取組と成果は。</p> <p>(4) 幅広く音楽に触れることは、大変重要であると考え。しかしながら、小学生の鼓笛隊（運動会におけるマ스ゲーム）を廃止する方向と聞き及んでいるが、その経緯は。</p> <p>また、これは歴史的にも長く続いてきた子どもたちが特別な楽器に挑戦し、演奏できる機会を奪うことになるが、どう考えているのか。</p> <p>(5) 「生きる力」の必須項目としてコミュニケーション能力がある。家庭の力がかなり大きなウエイトを占めるものの、家庭環境はさまざまであることから、公教育に求められる部分も大きいと考える。その取組と成果は。</p> <p>(6) 「生きる力」の知識として、金融リテラシー教育やプログラミング教育は、今すぐにでも推進すべき最重要課題と考えるが、見解は。</p> <p>(7) 学校教育以外で、例えば社会教育課において（6）の金融リテラシー教育やプログラミング教育等を先進的に導入する考えは。</p> <p>(8) 子どもの体力は、学力を支える根幹であることは言うまでもない。しかしながら、体力向上推進事業の予算はゼロである。当町の子どもたちの体力の現状はどうなっているのか。</p> <p>また、体育の時間以外、朝や休み時間、放課後等において、運動場に出て遊ぶ時間はどの程度あるのか。</p> <p>(9) 公約である給食費無償化の事業の概要に、「安心して学力を伸ばせる環境整備を図る。」とある。キーワードである「無償化」と「学力」の具体的な関連性は。</p> <p>また、今回のロードマップで、「国の動向」という文言が加筆された理由は。</p> <p>(10) 国の動きでは、令和5年6月に「こども未来戦略方針」が閣議決定され、年末までに、同方針の具体化を示した「戦略」を策定する予定である。</p> <p>同方針で提示されている「こども・子育て支援加速化プラン」を踏まえ、現時点においてどのような施策の展開（予算措置）を考えているのか。</p>	